



未亡人シリーズ
ファイナル
前編



これまでの経緯

川上悦子は未亡人だったが今は亡き息子の友人だったマモルに迫られ肉体関係になってしまふ、以来親子ほどの歳の差があるにも関わらず二人はまるで恋人同士のように会うたびに体を重ね情交を繰り返してきたのだった。しかしその関係は社会通念上許されるものではなく二人の関係にも終わりが来ようとしているのであった！





この影響は日本にも例外なく及び、私たちの住むこの街にも緊急事態宣言が發布されたのです。



※あくまでもこの世界での出来事です。

あ、それで
この間の…



スマホでの
やり取りの
話だけ…



僕たちの
今の関係に
ついてとかさ…

ええ…そうね、
実は今日は



その事で話を
したくて
来てもらったのよ

私たちは親子ほど
の歳の差があった
にも関わらず



男女の関係になって
しまい、それ以来会う
たびに情交を重ねる
間柄になっていました



女を知らなかった
この子に、セックス
を一から教え込んだ
のは私です。



舌を絡め合い唾液を
交換し合う男女が
性交時にするような
淫らなキスが

今の私たちの
間では常態化
していました。



年甲斐もなく
親子ほども歳の離れた
子との情事に夢中
なる中年の女と



自分の母親ぐらいの
歳の女を恋愛対象に
してしまう男の子が

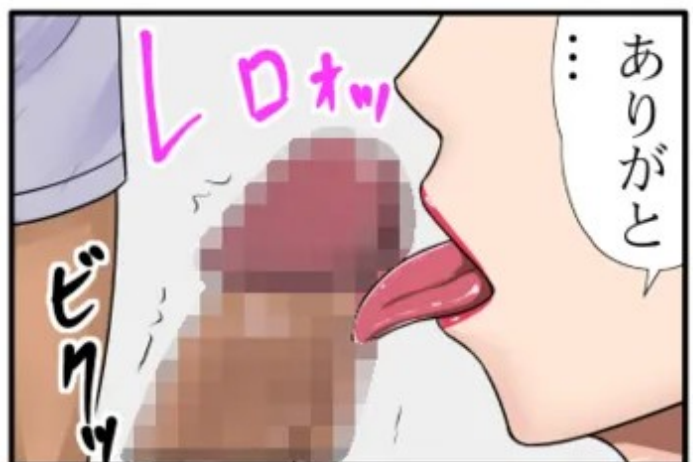
まだ外が明るいうちから
こんなことばかりしていた
のですから



あと
下着も

ここで最後まで
しちゃうのね？





マモルにはマナーとして体を
女性と行なう前には体を
清潔にしておくことを
教えていただきました



でも、マモルの
のなら洗って
いないとしても



今ではもう
気になりません

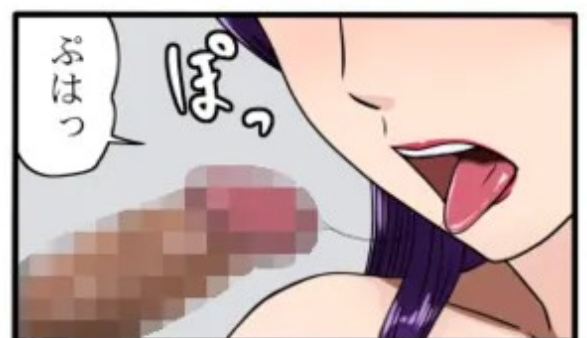


マモルがわたしの手で気持ちよくなつてくれることがうれしかった



うあ... その辺にしておかないと

挿入る前にイキそう...



じゃあこの辺にしておきましょうか

相変わらず立派ね







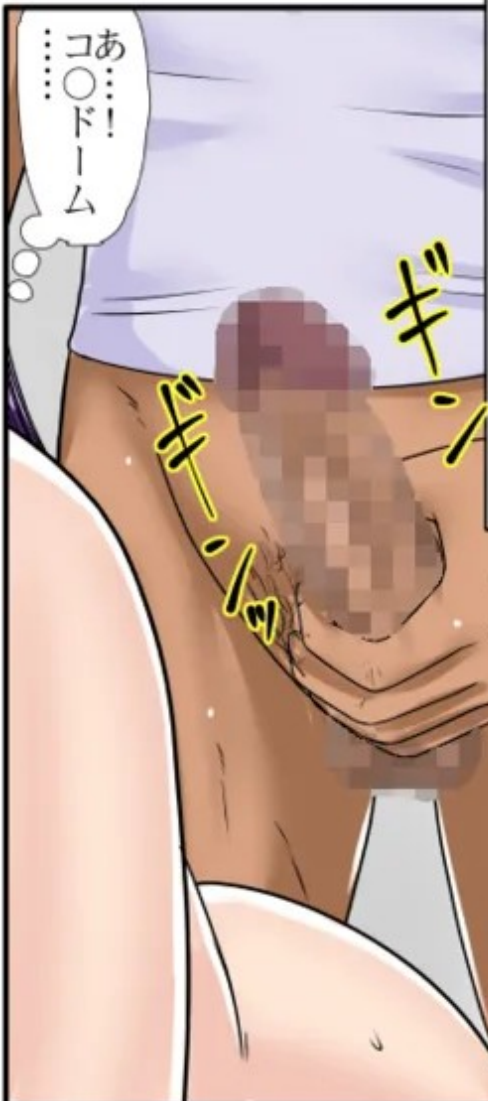


もう今ではこの子の手に身を任せてしまえばどこまでも性の快楽と絶頂の

波に飲み込まれて今までの自分ではなくなってしまうような好奇心と不安が入り混じったような予感がありました



マモルには今後私以外の女性とセックスすることを考えて行為の際は、基本的に避妊具を使うように教えていました...



あ... コ... ドーム

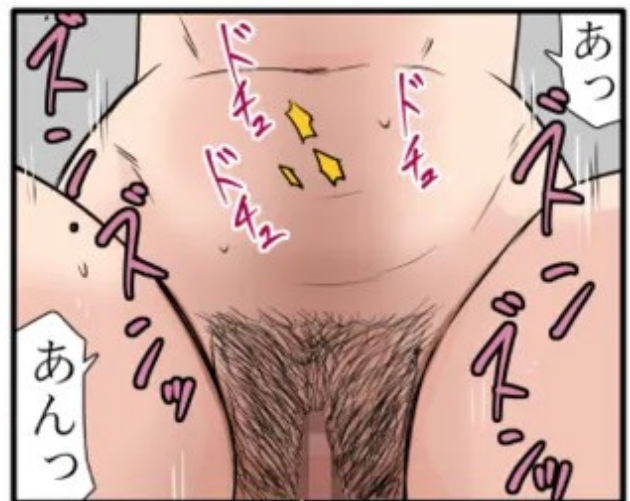
お互いに体が昂って
いて、寝室に買い
置きのコ○ドーム
を取りに行くまで
なんて
待てませんでした



私の歳ではもう
、そう簡単には
妊娠しないはず...



それにマモルの
赤ちゃんなら...なんて
頭の片隅で思っていた
りもしていました。







気持ちいいけど、
意図しない妊娠を
しないように膣内
射精は避けてもら
わないと……

あううんっ

あっあっあ
…ああっ

いいわあっ…
す、すごく…く

はっ







あ……!

な、中に……

アッアッアッアッアッアッ

快感に気をやってしまい
気が付いた時には
もう、私の子宮に向けて
放たれたマモルの精液は
膣内に満ちていて……





オーガズムの余韻の中で膣内に放出された精液の事をぼんやりと考えていました。



この日マモルは
泊まっつていくことにな
りました。

後編に続きます。



マタニティヌード







お買い上げありがとうございます。



※当サークル作品のインターネット上での無断配信は許可しておりません。無断で英語や韓国語、中国語に翻訳を禁じます。

Don't translate other people's work in other countries without their permission!

連絡先：utagawayosiero@hotmail.co.jp

2021-6-11 utagawa yosiero